

# 情報連絡員総括表（2024年8月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2024年8月のDI値（全体）は、前月との比較において、「販売価格」「雇用人員」の2指標が改善。その他7指標が悪化した。「売上高」「在庫数量」「取引条件」の3指標は製造業・非製造業問わず悪化傾向が見られる。「販売価格」について非製造業においては22.3ポイント回復しているものの、製造業においては3.2ポイント悪化しており、業界全体では9.4ポイントの改善を記録している。「収益状況」は製造業では3.4ポイント改善しているが、非製造業では8.2ポイント悪化しており、全体では2.0ポイント悪化しており、DI値は製造業・非製造業問わず依然としてマイナス値を記録している。

○「製造業」では、前月との比較において「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の3指標が改善され、その他5指標が悪化。「雇用人員」においては26.7ポイントの改善を見せ、2024年に入り初めてのプラス値を記録した。「収益状況」は依然としてマイナスを記録しているが、水産食料品においては、原料不足による相場の上昇や光熱費に対する政府補助によるコスト抑制により、収益増加につながっているなど明るい兆しも見受けられる。

○「非製造業」では、前月との比較において「販売価格」の1つの指標が改善し、「雇用人員」が横ばい、その他6指標が悪化した。前月は6つの指標が改善したが、今回は6つの指標が悪化するなど、月によって乱高下が繰り返されている。鮮魚小売業では、猛暑日が続いたことによる来客が減少しており、宿泊業では台風10号・日向灘を震源とする地震の影響によるキャンセルが相次いだことから、「売上高」は、マイナス6.7ポイントを記録。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年8月	-21.7	-9.1	25.0	-10.0	-40.0	-20.0	-33.4	3.3	-28.3
2024年7月	-12.1	-14.2	15.6	0.0	-38.0	-10.3	-20.0	-10.4	-25.8
増減	-9.6 ↓	5.1 ↓	9.4 ↑	-10.0 ↓	-2.0 ↓	-9.7 ↓	-13.4 ↓	13.7 ↑	-2.5 ↓

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2024年8月	-36.6	-13.3	ポイント	↘	-6.7	-6.7	ポイント	↘	-21.7	-9.6	ポイント	↘
	2024年7月	-23.3				0.0				-12.1			
在庫数量	2024年8月	-6.6	6.8	ポイント	↘	-14.3	2.4	ポイント	↘	-9.1	5.1	ポイント	↘
	2024年7月	-13.4				-16.7				-14.2			
販売価格	2024年8月	13.4	-3.2	ポイント	↘	36.6	22.3	ポイント	↗	25.0	9.4	ポイント	↗
	2024年7月	16.6				14.3				15.6			
取引条件	2024年8月	-10.0	-10.0	ポイント	↘	-10.0	-10.0	ポイント	↘	-10.0	-10.0	ポイント	↘
	2024年7月	0.0				0.0				0.0			
収益状況	2024年8月	-43.3	3.4	ポイント	↗	-36.7	-8.2	ポイント	↘	-40.0	-2.0	ポイント	↘
	2024年7月	-46.7				-28.5				-38.0			
資金繰り	2024年8月	-16.6	0.1	ポイント	↗	-23.4	-19.8	ポイント	↘	-20.0	-9.7	ポイント	↘
	2024年7月	-16.7				-3.6				-10.3			
設備操業度	2024年8月	-33.4	-13.4	ポイント	↘	/				-33.4	-13.4	ポイント	↘
	2024年7月	-20.0								-20.0			
雇用人員	2024年8月	6.7	26.7	ポイント	↗	0.0	0.0	ポイント	-	3.3	13.7	ポイント	↗
	2024年7月	-20.0				0.0				-10.4			
業界の景況	2024年8月	-30.0	0.0	ポイント	-	-26.6	-5.1	ポイント	↘	-28.3	-2.5	ポイント	↘
	2024年7月	-30.0				-21.5				-25.8			

## 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	1	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0			
	繊維工業	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	2	0	1	1	2			
	木材・木製品	1	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	1			
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1			
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
	窯業・土石製品	0	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1			
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	1	2	1	0	0	1			
	一般機器	0	3	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3	0	0	0	3			
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
	輸送用機器	1	2	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	0	2			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
非製造業	卸売業	1	2	0	0	1	0	0	1	0	2	0	2	/				0	0	0	2	
	小売業	2	1	0	0	2	1	0	1	0	3	0	2					0	1	0	2	
	商店街	1	3	0	2	4	1	0	2	0	2	0	1					0	1	0	3	
	サービス業	2	1	/				4	0	2	0	1	1					1	0	2	0	0
	建設業	0	1					1	0	0	1	0	4					0	3	0	1	0
運輸業	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0				

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・原料不足による製品の不足が、製品相場(価格)の上昇に寄与している。更に電力費やガス代(燃料費)に対する政府の補助によりインフラコストが抑制され、収益増に繋がっている。
パン	・連日の猛暑によりパンの消費量が減少し、売り上げ減となっている。秋に向かい新商品の販売やキャンペーンにより売り上げの確保と、販売価格の引き上げにより収益の確保を図っていく方針である。
織物	・受注は増加しているが、生産能力不足から供給不足が続く。納期調整をしながら生産平準化をして生産をしている。
印刷	・新聞店の廃業、折込部数の減少が気になる。
骨材・石工品	・先月同様、売り上げが前年同期より減少している。収益状況も、売り上げ減少により悪化している。
電気機械器具	・白物家電の7月の業界統計では、国内出荷金額は2か月ぶりのプラスとなった。冷蔵庫は5か月連続マイナス、ルームエアコンは7月の平均気温が観測史上最高となったこともあり4か月連続のプラス。 ・8月の生産は、冷蔵庫は販売低迷によりマイナス継続、家庭用エアコンと業務用エアコンは猛暑の影響などにより2か月連続してプラスとなった。
輸送用機械器	・製造業企業は約10日前後の夏期休暇を終え年度後半に入っている状況の中、業種、事業内容よっての繁閑が大きくなってきている。元々余剰資金が潤沢にある中小企業はほとんどないのが現状で、賃金アップの為様々な挑戦をする中、社会保険料の増額影響も有りなかなか賃上げは簡単にできない状況にある。 ・受注量が少なく先の見通しが不透明。

#### 非製造業

セメント卸売業	・8月の出荷は猛暑と台風10号の影響による長雨で、工事現場への配送が停滞して過去最低の出荷量となった。
鮮魚小売業	・猛暑が続く来客数は減少したが、商品単価の値上げで客単価が上がり売上高は横ばいであった。しかし月末の台風10号の停滞により、全体で売上高は大幅に減少。来月以降のこの時期の商売に不安を残した。
野菜・果実小売業	・酷暑の影響で葉物の状態が悪く物が無い状態。また、大根も品薄状態であった。その他の野菜も全体的に例年より高価で推移した。
各種商品小売業	・8月は猛暑や地震の発生などの影響で、夜店市の来街者は昨年より減少した。また、月末にかけて台風の影響で来店者が減少し、30日には店を閉めるところもあった。 ・8月は帰省客、観光客が来店客の2~3割を占めるため、食料品や飲食点がプラスとなる。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比100.0%と同数になった。8月中旬以降は巨大地震注意情報の発表及び台風10号接近に伴うキャンセルが多数発生し、大きな打撃となった。 ・8月前半は天候に恵まれ順調に推移していたが、中旬は気象庁による南海トラフ「巨大地震注意」発表や伊豆半島直撃が予想された台風7号の影響で多くの宿泊キャンセルが発生した。また台風10号の影響により、かつてない規模での鉄道の運休や一部主要道路の通行止め等で帰宅困難となった観光客への対応に苦慮するとともに、多くの宿泊キャンセルが発生し、8月後半の宿泊稼働はほぼ全滅の状況であった。
総合工事業	・材料、資材価格が上昇し続けている。元請からの単価は上がらない。 ・建方日が先の為請求が出せず、在庫が増加している。仕事量は、県内全域で低いようである。また、来年1月から年度末までは、今まで以上に厳しくなると思われる。 ・8月に入り年度内に完成を目指した民間の建築工事が増え始めているが、予算的には厳しい状況である。
職別工事業	・景況感是不変なもの、今年の8月は曜日の並びで例年より休日が多く、そのうえ連休明けの台風の影響が長引き、現場稼働がままならない状況が続いた。その為、昨年比ではかなり落ち込んでいる状況。ただ、先行きの見通しはそこそこ見えている状況である。
道路貨物運送業	・令和6年6月1日に標準貨物自動車運送約款が施行され、県内の貨物自動車運送業においても徐々にではあるが、従業員の賃金上昇が見受けられる。また、長時間労働の是正や労働条件の改善も進められており、特にドライバーの労働時間の短縮と賃金の上昇が目指されている。
道路旅客運送業	・7月の輸送実績を比較すると、運送収入は対前年比で7.1ポイント改善しコロナ前の85.1%となった。輸送人員については対前年比1.4ポイントの上昇にとどまっておらず、引き続き旅客需要喚起対策に期待したい。ドライバー不足については僅かずつではあるが上昇傾向が続いている。

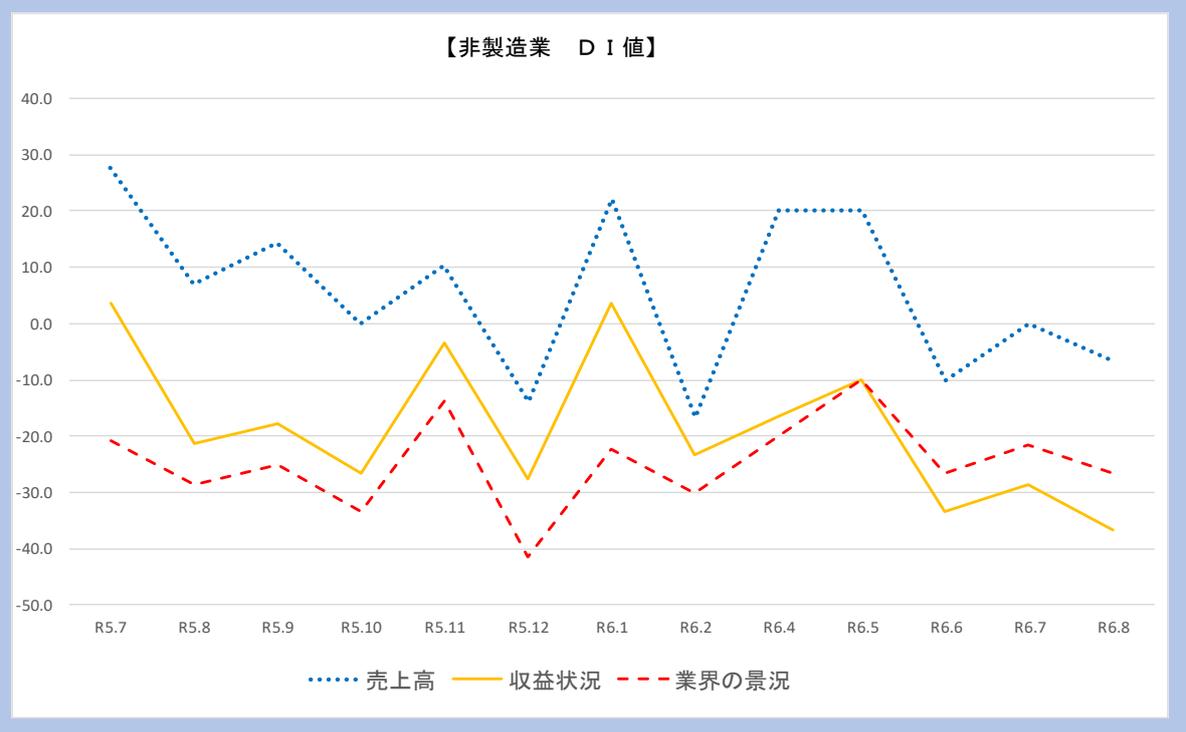
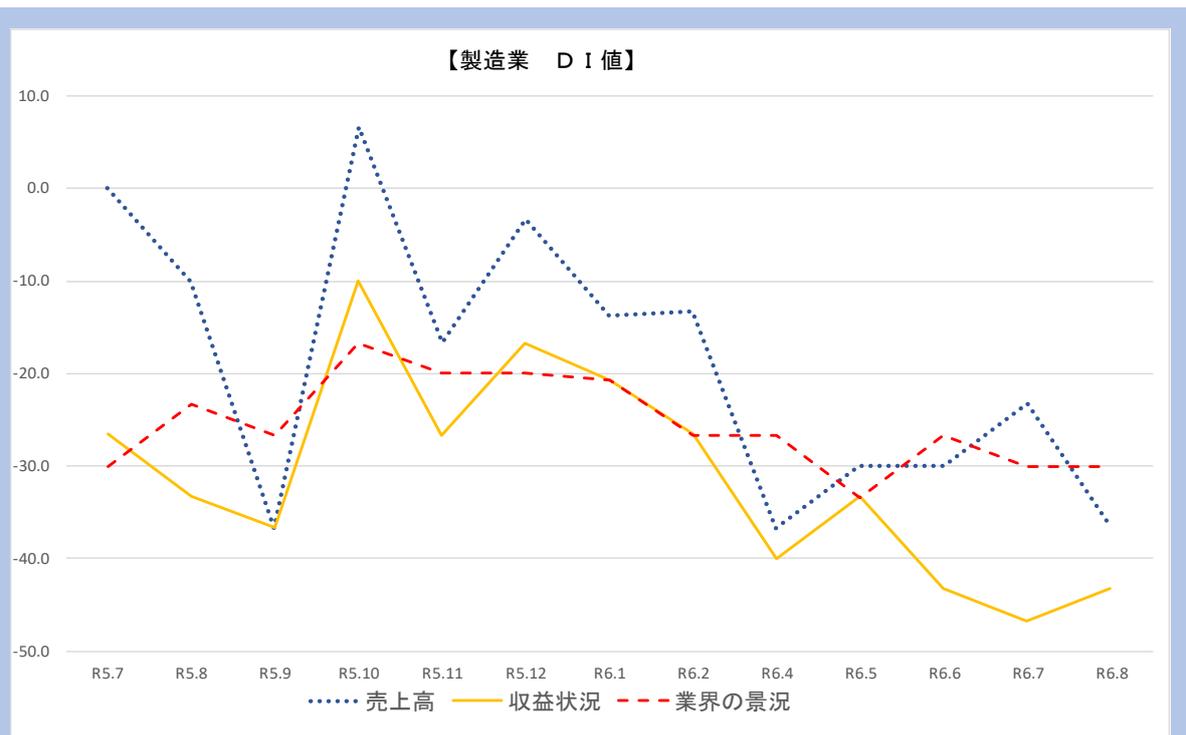
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2023年8月期～2024年8月期までの推移

全体	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
売上高	-1.7	-12.1	3.3	-3.4	-8.5	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1	-21.7
収益状況	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0	-40.0
業界の景況	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8	-28.3

製造業	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
売上高	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6
収益状況	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3
業界の景況	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0

非製造業	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
売上高	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7
収益状況	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7
業界の景況	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6



■ 2023年8月期～2024年8月期までの推移

売上高	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
製造業	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6
非製造業	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7

収益状況	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
製造業	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3
非製造業	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7

業界の景況	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8
製造業	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0
非製造業	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6

